2026年度 第２四半期
決算説明会資料

2026.11.18

リョーサン菱洋ホールディングス株式会社 【東証プライム：167A】

https://www.rr-hds.co.jp

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

Agenda

1. 本日のご説明のポイント
2. ルネサス社との契約終了 及び 当期の業績
3. 次年度以降に向けた取り組み
4. 株主還元
5. Appendix

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

1．本日のご説明のポイント

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

本日ご説明の主なポイント

1. 上期はデバイス、ソリューションの両事業で大きく伸長
   下期はルネサス終息影響が生じるも、年間着地は増収増益見込み

2. 来期に向けては、ルネサス終息のリカバリーにつながる
   既存の取り組みの効果が顕在化

3. 事業環境の変化と経営統合後の事業進捗を踏まえ、
   新たな３ヶ年計画を当期末決算発表時に公表予定

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

2．ルネサス社との契約終了
及び 当期の業績

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

ルネサス社との特約店契約の終了について

ルネサス社との特約店契約は2027年３月末をもって終了

2026.4.2
特約店契約終了の申入れに関して公表

2026.8.7
今年度末での特約店契約の終了決定を公表

2027.3.31
特約店契約終了（ビジネス終息）

（従前どおりルネサスビジネスを継続）

（お客様のご意向に応じて順次移管）

終了決定に至るまで
～お客様の安定的な事業運営を継続するための対応～

- ルネサス社及びお客様との継続的な協議
- 仮処分申立てを含む必要な対応の実施
- 協議及び法的手続を経た上での和解成立

契約終了まで
～円滑な移管と事業リスク抑制の対応～

- お客様のご意向に応じた移管協力
- 安定供給を意識した責任ある事業運営
- 在庫等の事業リスクの適切な管理

一貫して、お客様への影響を最小限に留めることを最優先に対応し、
契約終了後もお客様との接点を第一とし、お客様ニーズに沿った価値提供を継続

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

2026年度 業績

下期はルネサスビジネスの終息影響及び一部ビジネスの縮小が見込まれるものの、
メモリーやAI関連ビジネスでカバーし、年間では前年比増収増益を確保へ

◆ 上期実績

売上高	営業利益
2,039億円	86.7億円
前年実績	
1,722億円	38.7億円

メモリー需要の取り込みや
AIビジネス拡大が寄与し、好調に推移

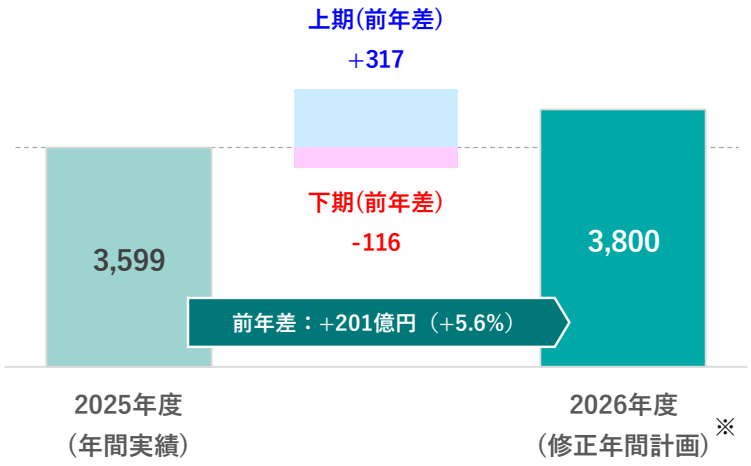
◆ 下期計画

売上高	営業利益
1,761億円	53.3億円
前年実績	
1,877億円	62.5億円

ルネサスビジネスの順次移管に伴う
影響拡大等が控える

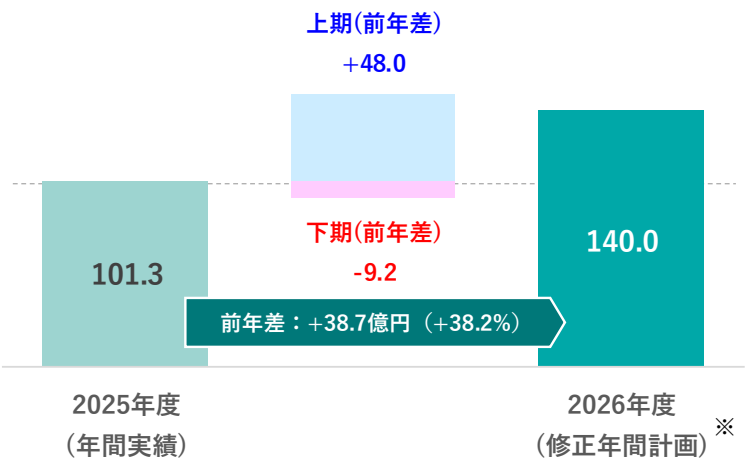
売上高

（単位：億円）



営業利益

（単位：億円）



※ 2026年度の当初年間計画
売上高：3,700億円 / 営業利益：120.0億円

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

3．次年度以降に向けた取り組み

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

経営統合の振り返り

経営統合から事業会社統合へ段階的に進展し、統合効果が顕在化

経営統合前（～2024年）
個社単独での事業運営

両社がそれぞれの強みを
活かせず、単独での
成長機会の拡大に限界

経営統合（2024年～）

両社の強み・経営資源を
グループとして相互活用

残された課題
事業会社が分かれていることによる
連携・情報共有面の制約

事業会社統合（2026年～）

名実ともに１つのグループとして、
統合シナジーを全社推進

＜現時点での手応え＞

残された課題であった「制約」が解消し、
事業面と経営インフラ面で具体的な行動が加速

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

2027年度に向けた当期の取り組み　～ 事業面 ～

事業会社の統合による営業シナジーが顕在化

営業シナジーの加速

2026年度の取り組み

お客様ニーズ起点の提案を継続し、案件の成約が加速

- リョーサンのお客様接点に対する菱洋エレのソリューション提案を推進
- 提案先となるお客様を100社以上に拡大
- 組込み領域を中心に大型案件を成約し、100億円規模の積み上げを実現

2027年

成功事例の横展開を通じ、案件数・成約金額を積み上げ

AIビジネスの強化

2026年度の取り組み

シナジーを通じてAI活用ニーズを捉え、提案・対応領域を拡大

- 生成AIからエッジAI・フィジカルAIへ対応領域を拡大
- お客様ニーズに応える商材・サービスを拡充
- AI×ロボティクスなど両社の知見を融合し、フィジカルAI領域での独自サービスを立上げ

2027年

継続した市場拡大が見込まれる中、業界リーダーのポジションを目指す

メモリービジネスの強化（DRAM）

2026年度の取り組み

シナジーを通じてお困りごとを捉え、安定供給に向けた対応を強化

- お客様所要及び供給リスクを早期に把握
- 供給状況やお客様のご要望を踏まえたご提案の選択肢を拡大

2027年

28年度以降も見据えた提案を推進

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

2027年度に向けた当期の取り組み　～ 経営インフラ面 ～

リョーサン菱洋 RYOYO RYOSAN

事業環境の変化を踏まえ、これまで検討・実施してきた取り組みを加速

拠点の統廃合



2026年度の取り組み

事業環境の変化を踏まえた
拠点体制の見直しを段階的に推進

- 本社集約及び一部拠点の再編実施
- ルネサスビジネスの終息を踏まえた国内外におけるさらなる統廃合の検討

2027年

戦略の推進を踏まえた体制を構築

人員の再配置



2026年度の取り組み

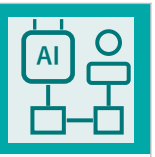
事業終息をリカバリーする人員の再配置

- AI領域での人員強化及び再配置など、ソリューション部門の体制を拡充
- スタッフ部門のスリム化や既存人員の有効活用による新規採用の抑制
- セカンドキャリア支援制度の導入

2027年

当社注力分野へ人員を増強

生産性の向上



2026年度の取り組み

お客様接点の拡大に向けた
営業改革と業務効率化の推進

- 個社それぞれの営業基盤を統合し、新規のお客様接点を拡大
- AIやデジタル活用を前提とした業務の自動化・効率化を推進

2027年

お客様接点の一層の拡大

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

2027年度以降の方針

事業面と経営インフラ面での具体的な取り組みを加速するとともに、
さらなる成長機会の獲得を並行して推進

事 業 面

“当社ならでは”の独自性に磨きをかける

営業シナジー　AIビジネス　メモリービジネス

経営インフラ面

徹底してお客様接点を拡大する

拠点統廃合　人員再配置　生産性向上

取り組みを具体化・加速

2027年度

ルネサス終息影響の克服

2026年度水準をベースに利益の最大化を図る

2028年度以降

さらなる成長機会の獲得

（新たな中長期計画として反映）

アライアンス

- **新たなパートナー候補との具体的協議の推進**
- **当社の独自性、競争力を支える機能の獲得**

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

現行計画を見直し、新たな３ヶ年計画を当期末決算発表時に公表へ

事業環境の変化と経営統合後の事業進捗を踏まえ、
計画策定時の前提を改めて検証し、新たな３ヶ年計画を策定

持続的成長に向けた「お客様接点の拡大」の基本方針は不変

現行の５ヶ年計画
【2024～28年度】

2024年5月公表

売上高	**5,000** 億円
営業利益	**300** 億円

（経営統合時の事業環境を前提に設定）

計画策定時からの前提変化

経営統合後の事業進捗 ＋ 事業環境の変化

持続的成長に向けた
成長戦略と経営基盤を再設計

（現行計画を見直し、新たな３ヶ年計画へ）

新たな３ヶ年計画
【2027～29年度】

新たな成長戦略と経営基盤を
もとに経営目標を再設定

経営目標

当期末決算発表時に公表予定

事業環境の変化を新たな成長への転換点とし、持続的な企業価値の向上へ

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

4．株主還元

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

株主還元

2026年度の年間配当は、期初計画から変更なく１株当たり140円を予定

2026年度 配当予想

１株当たり年間配当

140 円

上期末（実績）：**70 円**

期　末（予想）：**70 円**

（ご参考）

予想配当性向　：　59.1%

予想配当利回り：　4.5%

※ 2026年11月11日終値基準

配当実績・予想の推移

2024年度	2025年度	2026年度
		（予想）
140円	**140円**	**140円**
配当性向　59.7%	配当性向　75.4%	
ＤＯＥ　4.3%	ＤＯＥ　4.2%	

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

Appendix

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

2026年度 業績（上期実績 及び 年間見通し）

リョーサン菱洋 RYOYO RYOSAN

メモリービジネスやAI関連ビジネスが大幅に伸長した上期の業績に加え、
足元の事業環境及び今後の動向等を踏まえ、通期の連結業績予想を修正

（単位：億円）	2025年度			2026年度				前年比		年間当初計画比
	上期（実績）	下期（実績）	年間（実績）	上期（実績）	下期（計画）	年間（修正計画）	年間（当初計画）	上期（実績）	年間（修正計画）	
売上高	1,722	1,877	3,599	2,039	1,761	3,800	3,700	+316	+201	+100
デバイス	1,345	1,453	2,798	1,591	1,259	2,850	2,800	+246	+52	+50
ソリューション	377	424	801	448	502	950	900	+70	+149	+50
営業利益	38.7	62.5	101.3	86.7	53.3	140.0	120.0	+48.0	+38.7	+20.0
（率）	2.2%	3.3%	2.8%	4.3%	3.0%	3.7%	3.2%			
経常利益	32.5	56.8	89.3	81.7	48.3	130.0	110.0	+49.2	+40.7	+20.0
（率）	1.9%	3.0%	2.5%	4.0%	2.7%	3.4%	3.0%			
当期純利益	37.2	37.2	74.4	63.7	31.3	95.0	75.0	+26.6	+20.6	+20.0
（率）	2.2%	2.0%	2.1%	3.1%	1.8%	2.5%	2.0%			

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

【上期実績】売上高・営業利益の増減

■ デバイス事業

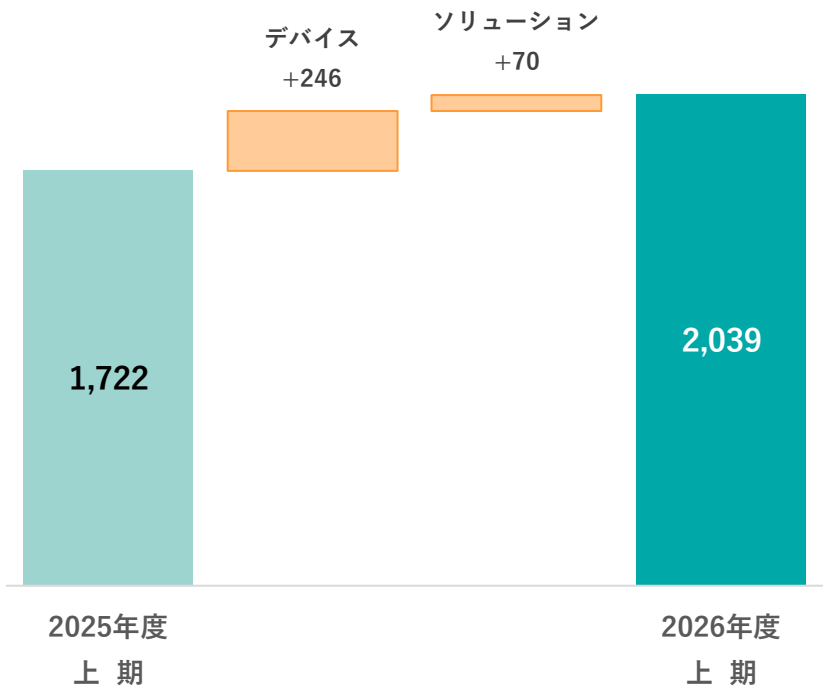
メモリー需要の拡大を中心に、幅広い分野で堅調に推移し、売上・利益ともに大幅伸長

■ ソリューション事業

品目別では好不調の差があるものの、ＡＩ関連を中心に拡大が続く

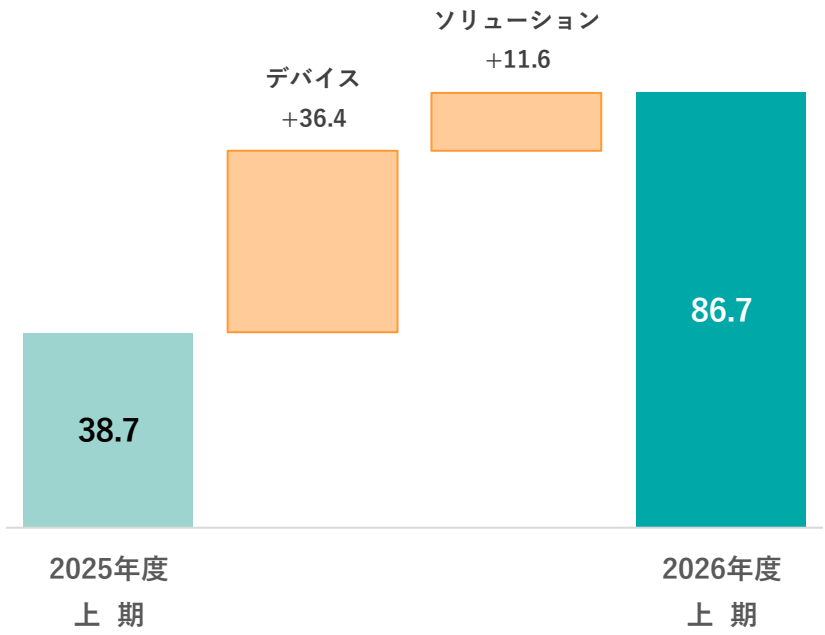
売 上 高

(単位：億円)



営 業 利 益

(単位：億円)



※ 2026年4月1日付の事業会社統合による組織変更に伴い、両セグメント間で一部組替えを行っています。
（25年度の実績については、現在のセグメントの内容に合わせて表示しています）

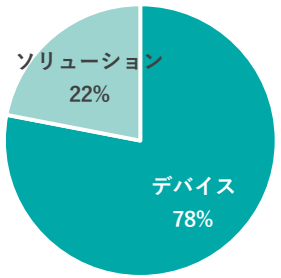
Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

【上期実績】事業別の概況

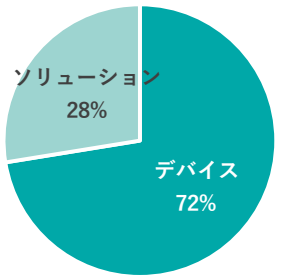
(単位：億円)		2025年度 上 期 (実 績)	2026年度 上 期 (実 績)	前年比 増減額	前年比 増減比
デバイス事業	売上高	1,345	1,591	+246	+18.3%
	営業利益	26.4	62.8	+36.4	+137.7%
	(%)	2.0%	3.9%		
ソリューション事業	売上高	377	448	+70	+18.7%
	営業利益	12.3	23.9	+11.6	+94.0%
	(%)	3.3%	5.3%		

2026年度・上期

＜売上高構成比＞



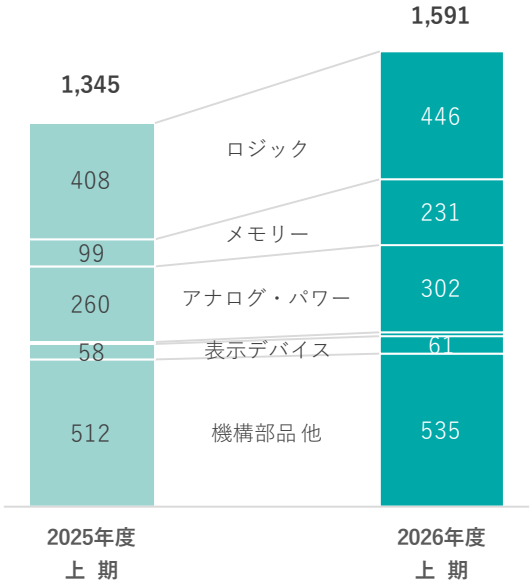
＜営業利益構成比＞



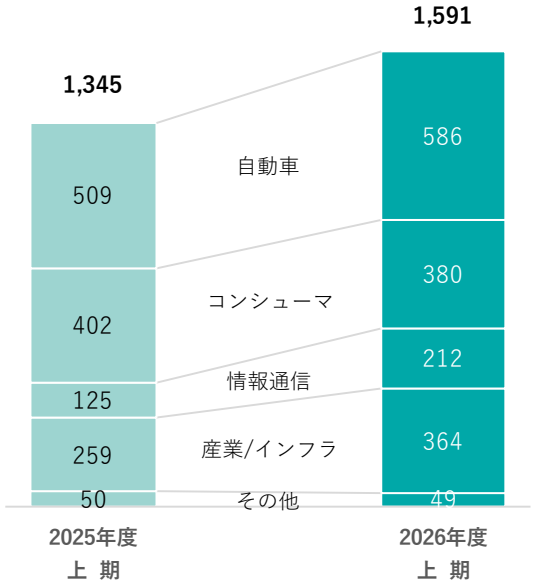
デバイス事業

(単位：億円)

＜品目別＞



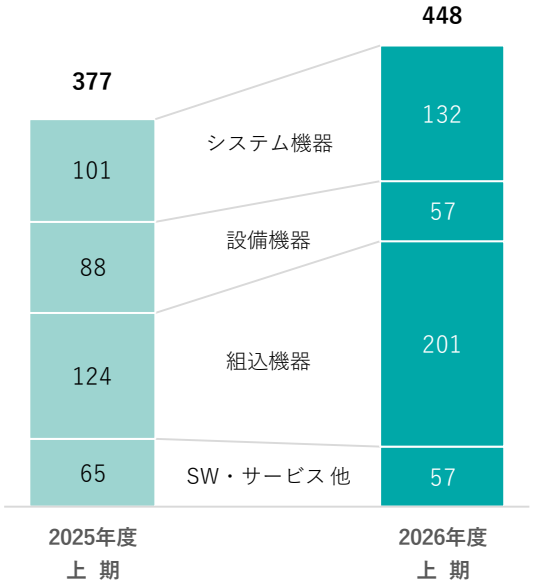
＜用途別＞



ソリューション事業

(単位：億円)

＜品目別＞

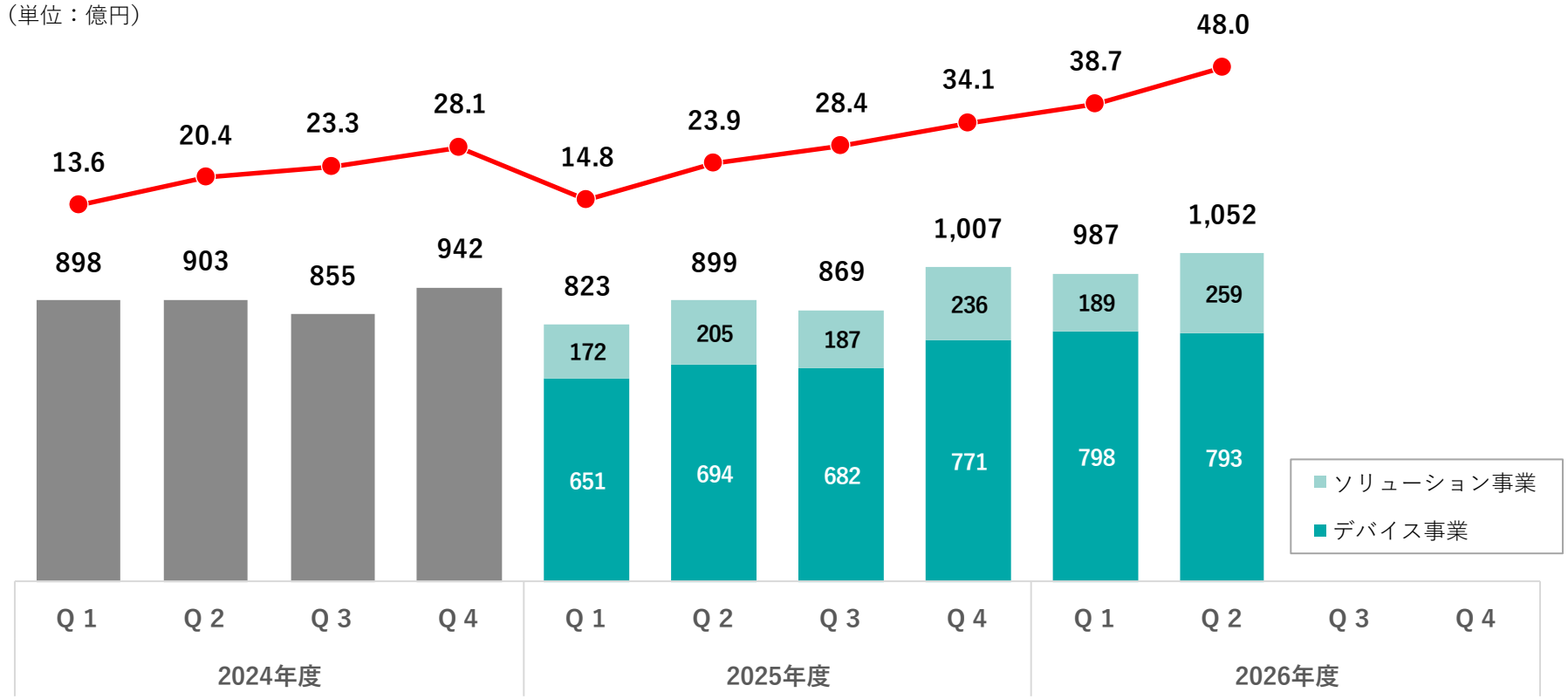


Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

※ 2026年4月1日付の事業会社統合による組織変更に伴い、両セグメント間で一部組替えを行っています。
(25年度の実績については、現在のセグメントの内容に合わせて表示しています)

売上高・営業利益の四半期推移

四半期における売上高、営業利益は経営統合後の最高値を更新



※ 2026年4月1日付の事業会社統合による組織変更に伴い、両セグメント間で一部組替えを行っています。
（25年度の実績については、現在のセグメントの内容に合わせて表示しています）

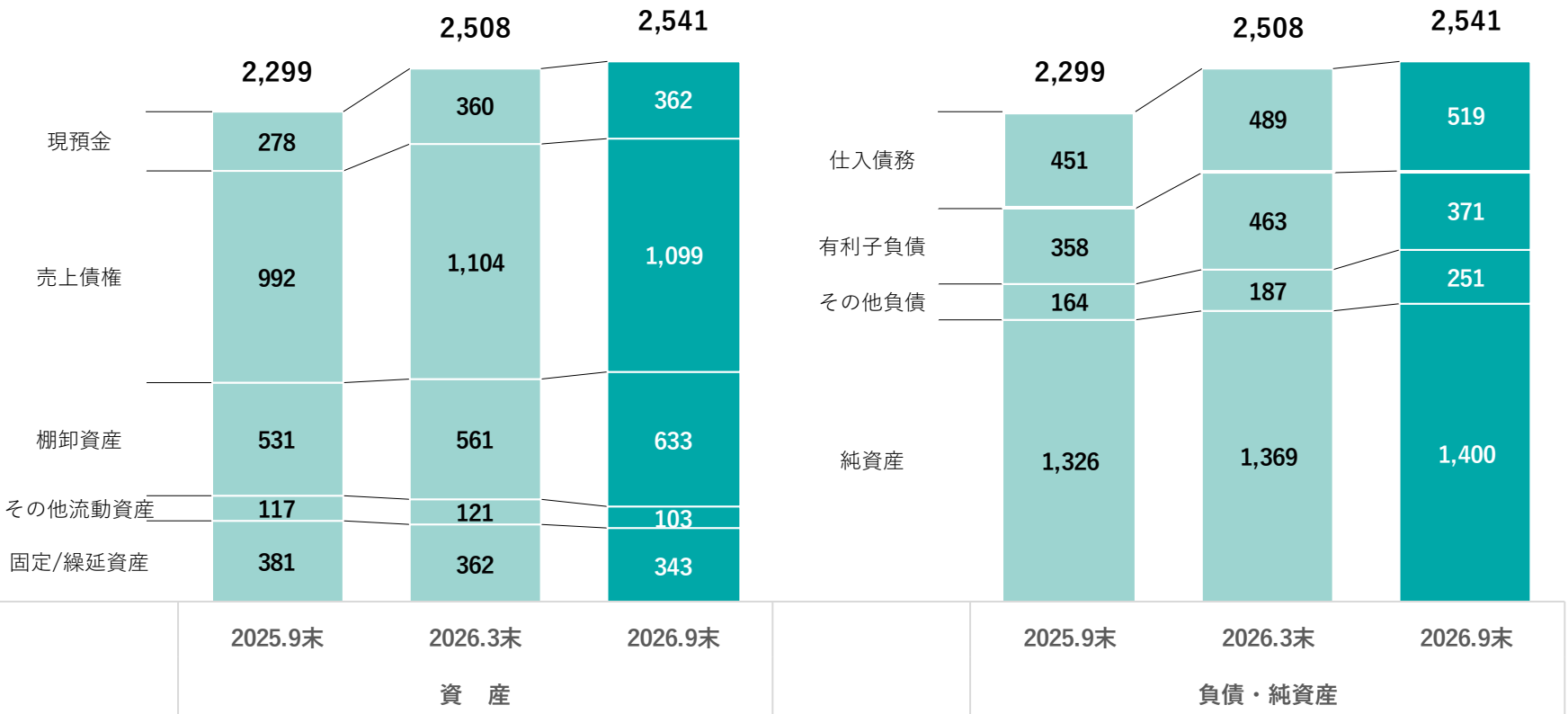
Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

貸借対照表

■ 固定資産における「のれん」は 26.7億円、「顧客関連資産」は 83.1億円。
※ のれんの償却期間は10年、顧客関連資産の償却期間は15年（いずれも2024年から）⇒ 年間償却額は 約10.0億円

■ 2026年9月末時点における自己資本比率は 55.1％となり、１株当たり純資産は 3,486.43円。

（単位：億円）



Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.

本資料について

● 注意事項

本資料内の業績および将来に対する見通しは、
当社が発表時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、
実際の結果は経済環境やその他の様々な要因により、
当初の見通しとは異なる可能性がありますことを予めご承知おきください。

－　本資料に関するお問い合わせ先　－

リョーサン菱洋ホールディングス株式会社
企画本部　広報部
TEL：03-3546-6331
E-mail：irmanager@rers-grp.com

Copyright 2026 © Ryoyo Ryosan, Inc. All rights reserved.